

3. 帯広市一般・特別会計予算執行の概要

帯広市一般・特別会計予算執行の概要

1 令和4年度における国の予算及び地方財政について

(1) 国の予算について

令和4年度予算は、新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期すとともに、成長と分配の好循環による新しい資本主義の実現を目指すものとして編成された。具体的には、新型コロナウイルス感染症の克服に向け、国民を守る医療提供体制や検査体制の確保、変異株を含む新たなリスクに対する万全の備えのためのワクチン・治療薬等の研究開発、雇用・事業・生活に対する支援等を推進するとともに、「コロナ後の新しい社会」を見据え、成長と分配の好循環を実現するため、「科学技術立国の実現」や「デジタル田園都市国家構想」、「経済安全保障の推進」を3つの柱とした大胆な投資による成長戦略や「全ての世代が支え合う持続可能な全世代型社会保障制度の構築」を柱とした分配戦略などにに基づき予算を重点配分することとされた。

また、東日本大震災を始め、各地の災害からの復興・創生や防災・減災、国土強靱化等に対応するとともに、現下の国際情勢に的確に対応し、国家の安全保障をしっかりと確保することとされた。

あわせて、「経済財政運営と改革の基本方針2021」（令和3年6月18日閣議決定）における令和4年度予算編成に向けた考え方に基づいて、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、メリハリの効いた予算とするとともに、いわゆる「16か月予算」の考え方で、令和3年度補正予算と、令和4年度当初予算を一体として編成することとされた。その中で、単年度主義の弊害是正のため必要に応じ新たに基金を創設する等の措置を講じながら適切かつ効果的な支出を推進するとされた。

(2) 地方財政について

極めて厳しい地方財政の現状及び現下の経済情勢等を踏まえ、歳出面においては、地域社会のデジタル化や公共施設の脱炭素化の取組等の推進、消防・防災力の一層の強化等に対応するために必要な経費を計上するとともに、地方公共団体が行政サービスを安定的に提供できるよう、社会保障関係費の増加を適切に反映した計上等を行う一方、国の取組と基調を合わせた歳出改革を行うこととした。

また、歳入面においては、骨太方針2021等を踏まえ、交付団体を始め地方の安定的な財政運営に必要な地方の一般財源総額について、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として、引き続き生じることとなった大幅な財源不足について、地方財政の運営上支障が生じないよう適切な補填措置を講じることとした。

2 令和4年度における本市の予算執行について

市長改選期であったことから、当初予算については、社会保障関係経費をはじめとする義務的経費や継続事業を中心とした骨格予算とした一方で、地域における感染症の状況などを踏まえ、市民生活に影響が生じないよう留意しながら、施策全般にわたり中長期的な視点を持ち、誰もが安心して暮らせる活力ある地域社会の実現に向けた予算の編成にあたった。

改選後の6月定例議会に向けては、コロナ後の未来を見据え、十勝・帯広が持続的に発展していくためには、この地が持つ豊かな資源を最大限に活かし、新たな価値を生み出していくとともに、フードバレーとかちをニューステージに進めることで、この地の個性や存在感、将来への期待をより一層高めていくことが重要との考えのもと、すべての市民の幸せを基本に据え、政策補正予算の編成にあたった。

また、予算の執行にあたっては、感染症による事業実施への影響に十分留意しながら、事業の効果が最大かつ適切に現れるよう、各部各課において、刻々と変化する状況への対応に努めるとともに、計上した予算に影響が生じる場合には、随時、情報共有を図ることや、歳入の減少が見込まれる場合は、事業の目的や効果を検討し、歳出の抑制など財源不足への対応方針を明らかにするなど、適切な執行を心がけた。

この結果、令和4年度における一般・特別会計に係る予算執行の概要は次のとおりとなった。

(1) 一般会計

予算規模は、当初84,207,000,000円、前年度当初予算対比1.3%減の予算を計上した。

その後、政策補正予算及び新型コロナウイルス感染症、各般の行政需要、景気動向の変化等に的確に対応するため、11,203,637,000円の補正予算を計上した結果、前年度からの繰越額2,568,941,187円を含め、最終予算額は97,979,578,187円となった。

予算執行にあたり、市税、国・道支出金をはじめとする財源の捕捉に努めるとともに、経費の節減など、効率的な財政運営に努めた結果、

歳入決算額 91,630,635,798円（執行率93.5%）

歳出決算額 89,577,245,050円（執行率91.4%）

歳入歳出差引額 2,053,390,748円となった。

なお、翌年度繰越額として1,069,148,050円を計上した。

(2) 特別会計

・ 国民健康保険会計

本年度は最終予算額15,967,067,000円を計上し、財政運営の主体である北海道と連携し、適正な医療保険給付と保険料等の財源確保に努めた結果、

歳入決算額 15,792,048,011円

歳出決算額 15,673,499,607円となり、

歳入歳出差引額 118,548,404円を翌年度へ繰り越した。

・ 後期高齢者医療会計

本年度は最終予算額2,707,702,000円を計上し、北海道後期高齢者医療広域連合を中心に、適正な医療保険給付と保険料等の財源確保に努めた結果、

歳入決算額 2,757,400,457円

歳出決算額 2,658,682,837円となり、

歳入歳出差引額 98,717,620円を翌年度へ繰り越した。

- ・ 介護保険会計

本年度は最終予算額 16,652,279,000 円を計上し、適正な介護保険給付と保険料等の財源確保に努めた結果、

歳入決算額	16,596,624,281 円
歳出決算額	15,926,879,561 円となり、
歳入歳出差引額	669,744,720 円を翌年度へ繰り越した。

- ・ 中島霊園事業会計

本年度は維持管理経費等最終予算額 47,699,000 円を計上した。

墓地の貸付と効率的な管理運営に努めた結果、歳入歳出決算額はともに、47,514,728 円となった。

- ・ ばんえい競馬会計

本年度は最終予算額 60,734,845,000 円を計上し、全 149 日のばんえい競馬を開催した結果、

歳入決算額	56,551,576,396 円
歳出決算額	56,418,943,748 円となり、
歳入歳出差引額	132,632,648 円を翌年度へ繰り越した。

- ・ 駐車場事業会計

本年度は維持管理経費等最終予算額 18,439,000 円を計上した。

中心市街地における買い物客等の利便を図るとともに、駅北地下駐車場等の効率的な管理運営に努めた結果、

歳入決算額	18,470,229 円
歳出決算額	18,350,015 円となり、
歳入歳出差引額	120,214 円を翌年度へ繰り越した。

